

北斗台地区のグリーンスローモビリティ実証運行について

1 はじめに

グリーンスローモビリティは、時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスであり、バスなどの公共交通機関ではカバーしきれない停留所から自宅周辺までの最後の区間の移動を可能にする移動手段として全国で実証実験や導入が進んでいる。

細川町の北斗台団地では、移動手段のない住民のために地元でボランティアカーの運営に取り組んでおり、持続的な移動手段の確保のため地元主体でグリーンスローモビリティの活用検討が進められている。

この度、運転者講習の実施や実証実験における運行計画の策定などの準備が整ったため、グリーンスローモビリティの導入により地域課題の解決につながるかの検証を実施する。

2 報告事項等

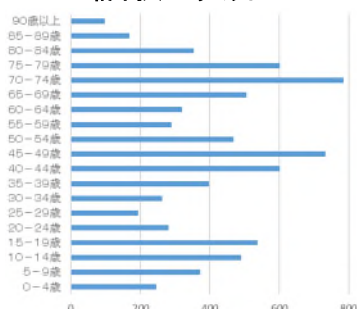
(1) 報告事項	北斗台地区のグリーンスローモビリティの実証運行
(2) 期間	令和 6 年 5 月 7 日（火）～6 月 2 日（日）
(3) 概要	・グリーンスローモビリティを用いた実証実験の実施 ・地域住民による共助の取組とし、運営を地域住民が担う
(4) 検討経緯	令和 3 年 2 月 アンケート実施（住宅団地向け全世帯アンケート） 令和 4 年 5 月 16 日 要望書提出（身近な生活移動手段の取組について） 令和 4 年 6 月 在宅訪問時に単身 75 歳以上世帯等ヒアリング 対象 89 人 令和 4 年 11 月～ グリーンスローモビリティ検討開始 令和 5 年 6 月 4 日 グリーンスローモビリティ試乗会実施（1 回目） 令和 5 年 9 月 28 日 グリーンスローモビリティ試乗会実施（2 回目）

【参考】地域概要

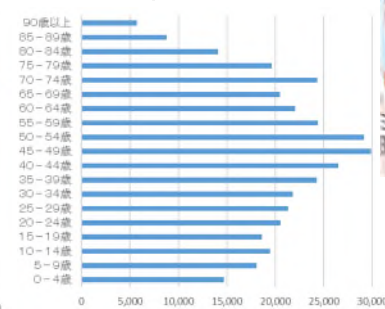
(1) 地域概要	対象地域：北斗台団地（細川町字窪地、上大針、扇田、鳥々根） ・路線バス頻度（平日）幹線沿い：49 便/日、北斗台団地内：10 便/日 ・年代別人口の偏在がある（今後 10 年間で後期高齢者増加率が市内で最も高い）
(2) 地域課題	・ファーストマイル、ラストマイルの移動手段の確保 ・次世代の定住及び若者世帯の誘導による地域コミュニティの維持
(3) 方針	グリーンスローモビリティ導入の検証
(4) 計画上の位置付け	施策⑪ 地域主体における移動手段の確保 施策⑩ 環境へ配慮した車両の導入

R5. 4. 1 時点	北斗台地区	岡崎市
人口	3, 196 人	383, 789 人
人口（65 歳以上）	1, 042 人	93, 133 人
高齢化率	32. 59%	24. 26%
世帯	1, 291 世帯	168, 543 世帯

細川町人口ピラミッド



岡崎市人口ピラミッド

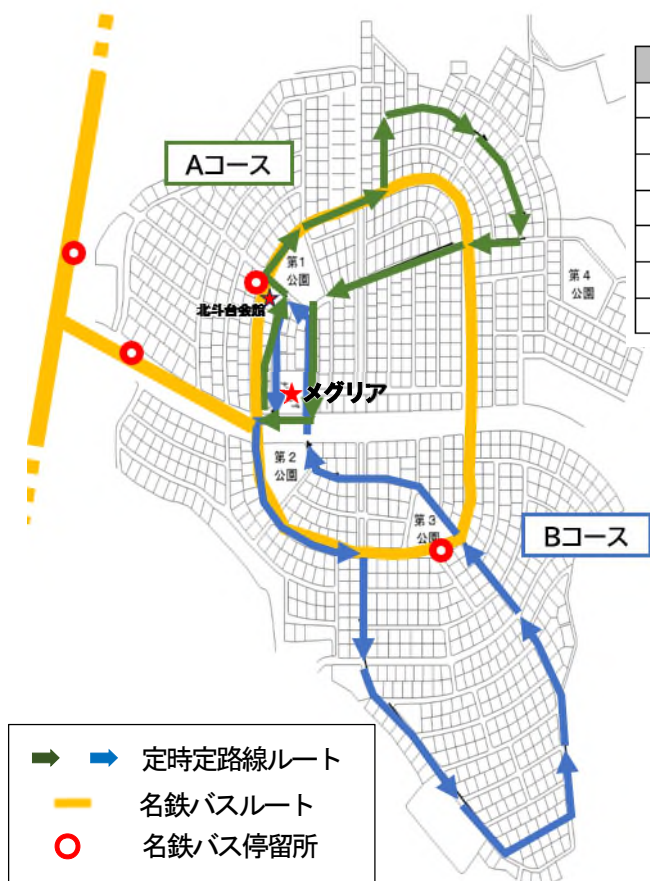


3 運行概要

①目的	北斗台地区における日常生活の移動手段の確保
②運行日時	令和6年5月7日（火）～6月2日（日） 午前10時30分～午後4時25分
③対象	北斗台地区住民及びその親族等
④運行形態	定時定路線とデマンド運行の併用
⑤運行区域	北斗台地区
⑥運賃	無料
⑦移動ルール	・ 定時定路線は2ルートで運行し、フリー乗降とする ・ デマンド運行は、行きは自宅から目的地、帰りは指定場所から自宅に運行する
⑧予約方法	電話予約 事前予約：平日 午前10時～午後4時 当日予約：利用希望時刻30分前
⑨運行車両	グリーンスローモビリティ1台 車種：TAJIMA NAO-6J（利用者定員：6名）
⑩実施主体	岡崎市
⑪運行主体	運転者講習を受講した北斗台地区住民

【参考】グリーンスローモビリティ定時定路線ルート及び名鉄バスルート

【運行ダイヤ】



時刻	00 分発	15 分発	30 分発	45 分発
10 時	—	—	定時（Bコース）	予約
11 時	定時（Aコース）	予約	定時（Bコース）	予約
12 時	定時（Aコース）	12:10～13:10 昼休み		
13 時	—	予約	定時（Bコース）	予約
14 時	定時（Aコース）	予約	定時（Bコース）	予約
15 時	定時（Aコース）	予約	定時（Bコース）	予約
16 時	定時（Aコース）	予約	16:25 終了	



4 今後のスケジュール

- ・ 実証運行の実施後、利用状況、利用者意見等を踏まえて効果検証を行い、本格運行への移行について検討する。
- ・ 本格運行へ移行する際は、車両調達及び運行計画の作成を行い、北斗台地区において将来に渡り持続可能な日常生活における移動手段の確保を目指す。

R 6			R 7	
実証運行	効果検証	本格運行への移行検討	運行計画作成・車両調達	